

※今月のみ受注の書目です。

政治／憲法

## 〈シリーズ 怪獣化するプラットフォーム 権力と法〉のご案内

社会の超高齢化に伴い生じる様々な問題の解決に向けて、プラットフォームの機能に着目し、ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指す研究プロジェクトをもとにした全4巻のシリーズです。プラットフォームがもたらしうる積極的側面を最大化し消極的側面を最小化するために何が必要なのか。海外の研究者やプラットフォーム実務家等と協力しつつ、その機能と課題を検証しています。現在直面している将来的課題の解決策を模索しながら、読みやすい内容で一般の読者の方に訴求することを目指しています。

編著者陣には、『AIと憲法』などの著作で知られる山本龍彦教授のほか、石塚壮太郎准教授、駒村圭吾教授、磯部哲教授など、法学研究をリードする研究者が揃っています。

本シリーズは全4巻構成となっております。

I 巻：山本龍彦 編者代表／ポリヌ・トュルク、河嶋春菜 編

『プラットフォームと国家』（2024 年 9 月刊行予定）

II 巻：石塚壮太郎編『プラットフォームと権力』（2024 年 8 月刊行予定）

III 巻：駒村圭吾編『プラットフォームとデモクラシー』（2024 年 9 月刊行予定）

IV 巻：磯部哲ほか編『プラットフォームと社会基盤』（2024 年 8 月刊行予定）

### 【シリーズパンフレットのご案内】

シリーズ「怪獣化するプラットフォーム権力と法」のカラーパンフレットを制作予定です。ぜひ、店頭およびお取引書店・図書館・学校への配布にご活用ください（完成時期：10月頃を予定）。ご入用の際は、別紙短冊の注文欄にて必要部数をお申込みください。

👉 中面に、I 巻とIII巻の紹介を掲載しておりますので、  
ぜひご確認ください！

# 怪獣化するプラットフォーム権力と法I プラットフォームと国家

How to settle the battle of Monsters (2024 年 9 月中旬刊行予定)

山本龍彦(慶應義塾大学大学院法務研究科教授)[編者代表]／ポリヌ・トゥルク  
(コートダジュール大学教授)・河嶋春菜(東北福祉大学総合福祉学部准教授)[編]

四六判上製／304 頁 税込予価 2,970 円 ISBN978-4-7664-2978-7 C0031

## 👉 ココに注目！

- ・デジタルプラットフォーム vs. 国家。巨獣の争いはどちらに軍配が上がるのか？
- ・ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指す研究プロジェクトの集大成。
- ・第 1 巻ではデジタル空間におけるルールメイキング、取り締まり、安全保障などを論じる。

国家に比肩しうる影響力をもちはじめたデジタルプラットフォーム。その積極的側面を最大化し、消極的側面を最小化するためにはどのような秩序形成が必要なのか。立法権—デジタル空間のルールメイキング、捜査権—デジタル空間の取締り、課税権、公衆衛生、安全保障の問題を検討し、国家とデジタルプラットフォームのあるべき関係を提案する第 1 巻。

**対象** デジタルプラットフォームや AI の抱える問題点を法や国家の観点から考えたい一般読者

**類書** ポール・シャーレ 著『AI 覇権 4つの戦場』(早川書房)

## 【主要目次】

提言 山本龍彦、河嶋春菜

### 第 1 章 デジタル空間の統治をめぐる諸アクター

- I リヴァイアサン vs ビヒモス (山本龍彦)
- II 国家連合と DPF 連合—リヴァイアサンズ vs ビヒモスズ (ティティラット・ティップサムリットクン)
- III 抗うリヴァイアサンとデジタル主権 (ポリヌ・トゥルク)

### 第 2 章 デジタル空間の統治者をめぐる戦況

- I デジタル化と地政学化した世界における EU の主権 (ポール・ティマース)
  - II アメリカ—リヴァイアサンとビヒモスの共生モデル (Dongsheng ZANG)
  - III 中国：主権の変容—デジタル魔獣世界と法秩序のイノベーション (季衛東)
- コラム：イギリス—Brexit：強いリヴァイアサンへ？ (荒川稜子)

### 第 3 章 デジタル空間の統治をめぐる攻防のフィールド

- I ラットフォームとの「パートナーリング (Partnering)」—カナダにおけるグーグルやメタとの戦い、およびその教訓 (イヴ・ゴーモン／カトリーヌ・レジ)
  - II 公衆衛生—ウイルスとの闘いかビヒモスとの闘いか (河嶋春菜)
  - III 「データの武器化」と安全保障における DPF の台頭 (布施哲)
- コラム：アメリカとヨーロッパ、ウクライナ戦争 (ローレンス・レッシング)

# 怪獣化するプラットフォーム権力と法Ⅲ プラットフォームとデモクラシー

The Future of Another Monster 'Demos' (2024年9月上旬刊行予定)

駒村圭吾（慶應義塾大学大学院法学部教授）[編]

四六判上製／352頁 税込予価 2,970円 ISBN978-4-7664-2980-0 C0031

## 🔗 ココに注目！

- ・デジタルプラットフォーム vs. 国家。巨獣の争いはどちらに軍配が上がるのか？
- ・ネットワーク空間における新たな秩序の形成を目指す研究プロジェクトの集大成。
- ・第3巻ではデモクラシーの近未来についての問題提起とあり得る方向性を扱う。

国家に比肩する影響力をもちはじめたデジタルプラットフォーム。その積極的側面を最大化し、消極的側面を最小化するためにはどのような秩序形成が必要なのか。デモクラシーの基本情報である人口動態が近未来にどうなるのか、どうあるべきなのか、民主政にいかなる影響を及ぼすのかを探り、デモクラシーの近未来についての問題提起とあり得る方向性を総覧する第3巻。

**対象** デジタルプラットフォームやAIの抱える問題点を法や国家の観点から考えたい一般読者

**類書** ポール・シャーレ 著『AI覇権 4つの戦場』（早川書房）

## 【主要目次】

提言 駒村圭吾

### 第1章 嘘、陰謀、フェイク

- I 嘘と民主主義—ポスト・トゥルースとデモクラシーの近未来（駒村圭吾）
- II 生成民主政（Gilad Abiri、吉川智志訳）
- III 言論空間におけるフェイクのゆくえ（水谷瑛嗣郎）

### 第2章 アルゴリズムの支配

- I アルゴリズムによる統治は可能か（結城東輝、執筆協力・鈴木健）
- II アルゴクラシーの「可能性」（小久保智淳）
- III 行政立憲主義とデモクラシーの関係についてのスケッチ（瑞慶山広大）

### 第3章 デモグラフィとデモクラシー

- I 議会のDE & I推進（大西祥世）
- II デモクラシーと世襲政治家—その構造とその功罪を考える（清水唯一朗）
- III 「シルバーデモクラシー」の虚実（吉田徹）

### 第4章 「熟議」「政党」「市民運動」はどこに行くのか

- I 「抽選制の未来」（山口晃人）
- II 政党の黄昏と政党論の夜明け（倉持麟太郎）
- III 身体と民主政—その未来（佐藤信）
- IV 2040年の国民投票—成功しているアイルランドの国民投票プロセスが直面する将来の課題（デビッド・ケニー、横大道聡訳）
- V 憲法改正と国民投票についての一考察—デビッド・ケニー教授の議論を受けて（横大道聡）

